

新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別をなくしましょう！

県独自の緊急事態宣言が出され、不安な気持ちでお過ごしの方も多いと思います。ウイルスによる不安、不自由な生活へのストレスから偏見や差別が生まれ、社会問題になっています。新型コロナウイルスに関連した偏見や差別等について、お子さんと一緒に考えることを通して、**人権意識を高め、思いやりの心を育てていきましょう！**

STOP!
コロナ差別

社会問題になっている コロナ差別の事例

- 感染した人やその家族、関係者などに対する誹謗中傷
- 感染した人の住所や勤務先を細かく調べたり、根拠のない情報を拡散したりする
- 医療従事者の家族に対して、出勤等を拒否する
- 体調が悪い・咳をする人などに対して、感染者と疑ったり、悪口や暴言を言ったりする
- 県外への通勤者や県外から来た人を非難するなど

**恐れるのはウイルスであり、人ではありません。
お子さんが正しい判断や行動をとれるよう、
親自身がお手本を示していきましょう！**

坂東市
マスコットキャラクター
『将門くん』



人権意識度チェック



- 新型コロナウイルスは誰が感染しても不思議ではない。感染してしまった人を責めたりせずに、優しく接したい。
- 医療従事者はもちろん、コロナ禍の中でも私たちの日常生活を支えるために、外で働いてくれる人がいることに感謝している。
- インターネットやSNSの書き込み、人から聞いた話はすぐに信じず、公的機関の情報を確認している。
- SNSなどへの書き込みは、軽い冗談のつもりでも読む相手を傷つけることがあるので注意が必要だ。
- 子供たちには、「いじめや悪口はいけない」と言い聞かせているのだから、大人が手本を示すべきだ。
- 人権は侵すことも侵されることもある。どちらも防ぐには、日頃から人にやさしく接することが必要だ。

コロナ差別の加害者にならず、さらなる感染拡大を防ぐために

正しい知識

うわさ話やSNS等の無責任な情報をすぐに信じず、公共機関が発信する情報を確認しましょう。



冷静な行動

自らの感染を防ぐための行動をするとともに、落ち着いて行動しましょう。



思いやりの心

相手の立場になって考え、人と人との心のつながりを大切にしましょう。

